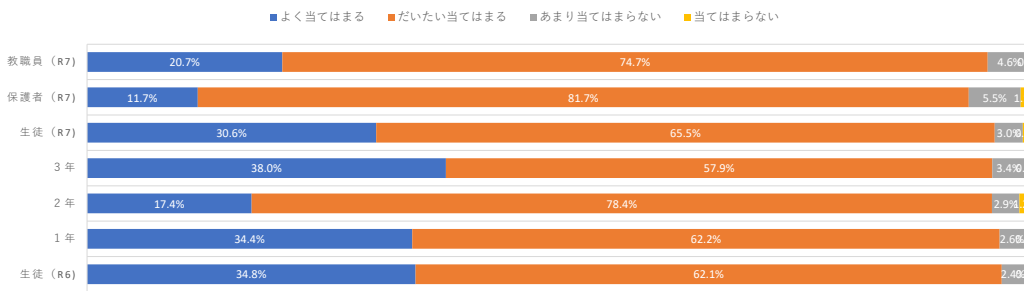


# 令和7年度 学校評価アンケート 集計結果【分析と対策】

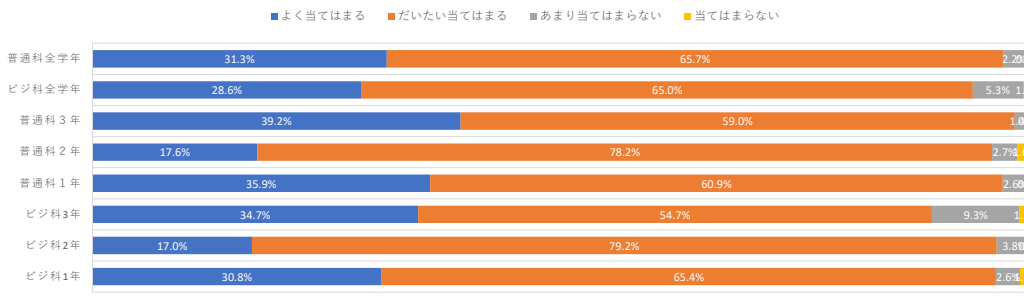
## 設問1 学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程が編成・実施されている



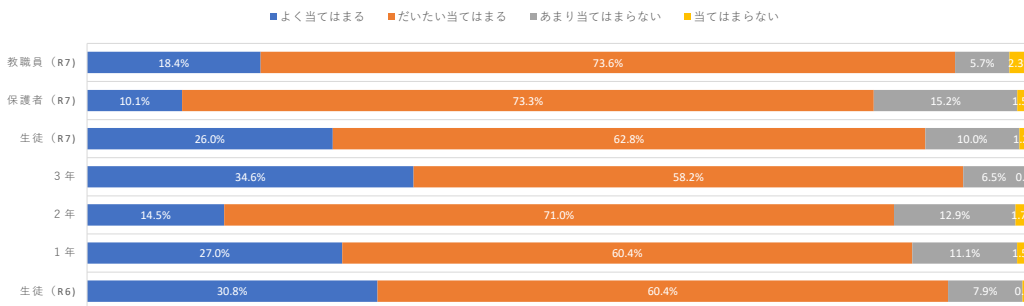
### 【分析と対策】

生徒96.1% (R6 96.9%)、保護者93.4% (R6 94.5%)と昨年度を若干下回ったが、高水準を保った。特に普通科3学年では、多くの選択科目から自分の進路希望に応じた科目を選び、進路実現を目指した学習を行っていることから98.2%と高かったと思われる。ビジネス科では、資格取得・地域貢献・国際交流を3つの柱とし、実践的・体験的な学習をとおして課題を解決する力、仲間との協調性を育成している。今後もスクールポリシーに基づき、生徒が目標達成できるカリキュラムになるように継続して検討していきたい。

## 設問1 学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程が編成・実施されている



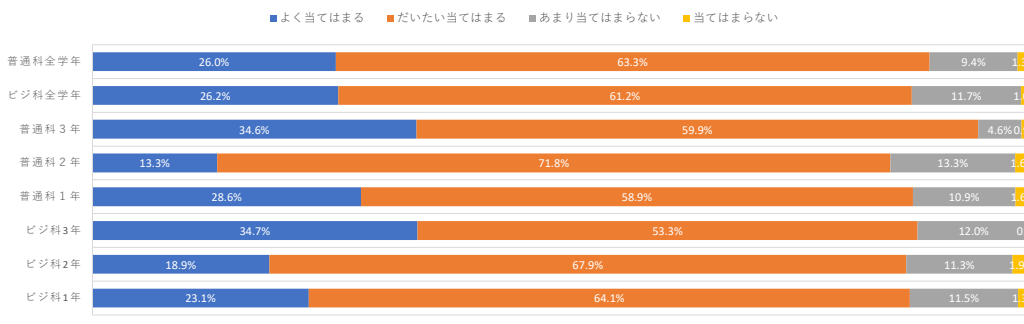
## 設問2 生徒にとって、学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている



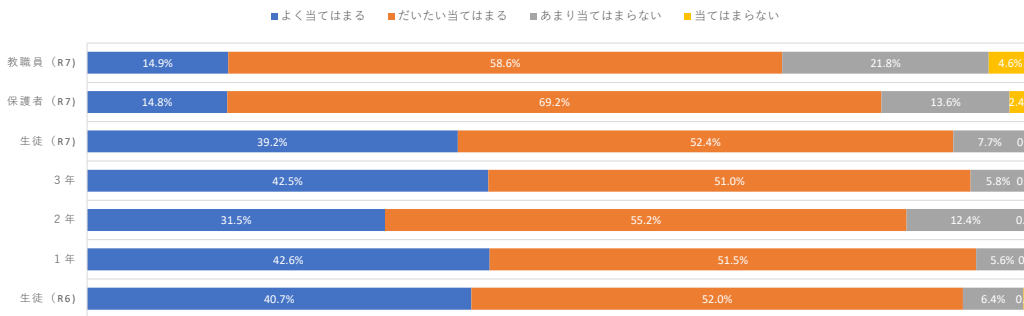
### 【分析と対策】

同日に行った授業振り返りアンケートの結果、「授業の内容がよく理解できる」は、1学年84/3%、2学年87.9%、3学年92.9%であった。1・2学年では、数学、2学年普通科では理科・英語に苦手意識を持つ生徒が多いようだ。教員のICT活用状況については、1学年84.3%、2学年89.4%、3学年89.9%は活用していると評価している。家庭学習は、1学年53.2%、2学年46.2%、3学年56.4%がスタサブを含めて週に合計1時間以上行っていると回答した。今後さらには生徒の意欲・関心を引き出すためには、教員の授業力向上が求められる。研究授業・教科研修会等により教員のスキルアップを図りたい。

## 設問2 生徒にとって、学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている



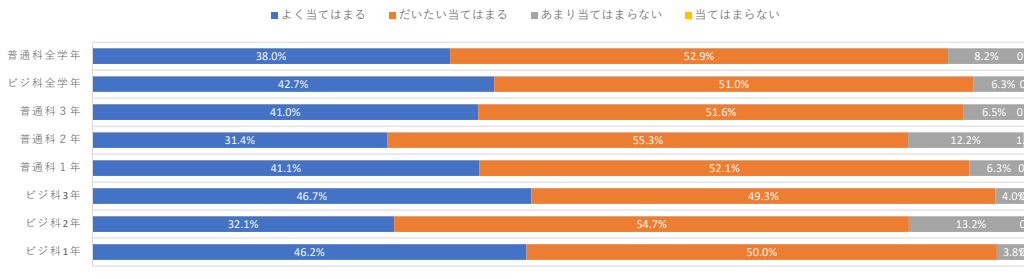
設問3 生徒にとって、挨拶やマナーなどの基本的生活習慣の確立に関する指導が行われている



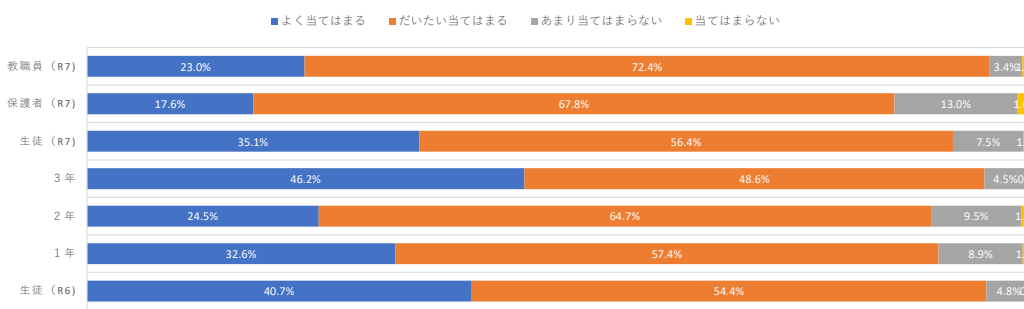
【分析と対策】

今年度は偶数月に週一回、計4回の朝の立ち番指導を行ってきた。校内でもすれ違う際に積極的に挨拶を行う習慣も見られ、日頃の声かけが根付いてきた結果、おおむね8割以上の肯定的評価があったと考えられる。一方で、教職員の評価がやや低くなっている状況であるが、教職員の意識を変え、今後も生徒たちの健全な成長を促す取り組みを進めていきたい。

設問3 生徒にとって、挨拶やマナーなどの基本的生活習慣の確立に関する指導が行われている



設問4 生徒にとって、進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている

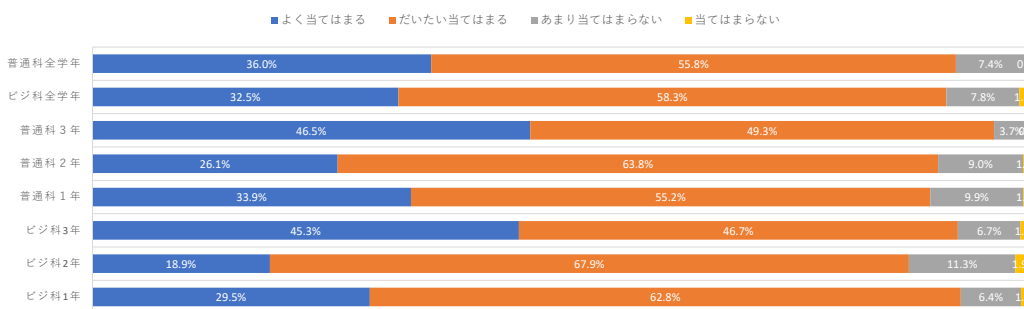


【分析と対策】

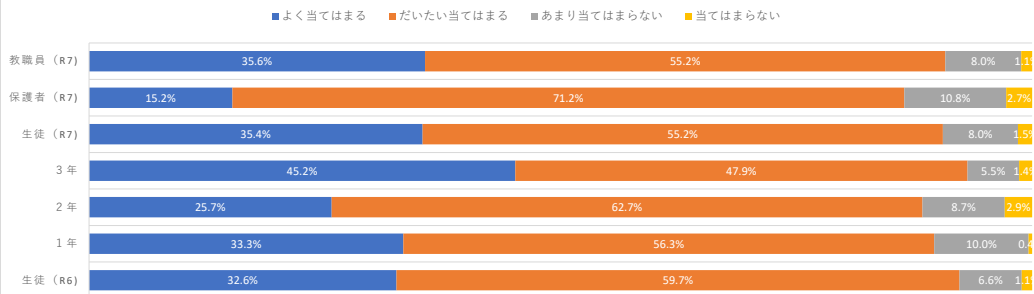
生徒の肯定的評価は9割を超え、概ね高い評価を維持している。学年別に見ると、学年進行に伴い進路行事や個別面談等を通して進路意識が高まっている様子うかがえる。一方で、「よく当てはまる」の割合は一定数にとどまっており、特に低学年では進路を自分事として捉えきれていない生徒も見受けられる。また、保護者および教職員の評価は生徒に比べてやや低く、進路情報の共有や指導内容の見えにくさが影響している可能性がある。

対策としては、学年段階に応じた進路指導を一層体系化し、1年次から自己理解や職業理解を深める機会を計画的に設定していく。進路ガイダンスや外部講師による講話、進路資料の活用を通して、生徒が将来像を具体的に描けるよう支援するとともに、個別面談を通じたきめ細かな助言を継続する。また、進路通信や説明会等を活用し、保護者への情報発信を強化することで、家庭と連携した進路指導の充実を図りたい。

設問4 生徒にとって、進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている



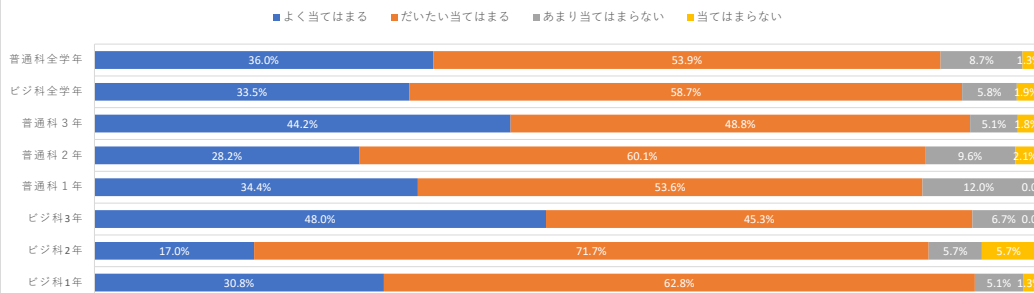
設問5 生徒にとって、教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている



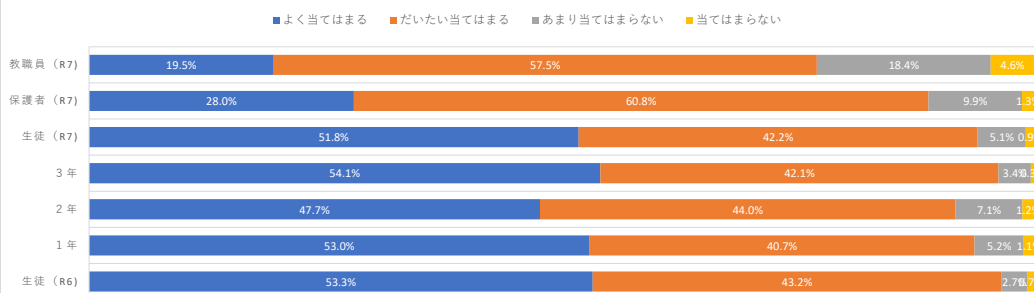
【分析と対策】

生徒の肯定評価は90.6%と、昨年より1.7%低下したが、ほぼ同様の評価がなされたと考える。本校は東西2キャンパスのため、それぞれのキャンパスにカウンセラーを配置しているが、来校するのは月2回程度である。そのため来校日にタイミングよく相談の予約が必ずしもできるとは限らない。それでも高い評価を得ることができたのは、担任をはじめ先生方のごろからの生徒への声掛けやカウンセラーからの生徒向けの文書といった働きかけがあったからであると考えられる。また、本校は基本的に西キャンパスに1名スクールソーシャルワーカーが配置されている。相談内容がカウンセラーとは一応線引きされているものの、生徒及び保護者の相談に応じてもらい問題解決に導く場面が多々あった。次年度の教育相談についての職員配置は未定であるが、先生方の生徒に対する寄り添う姿勢の指導の下、保健厚生部として生徒の心のケアに心がけていきたい。

設問5 生徒にとって、教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている



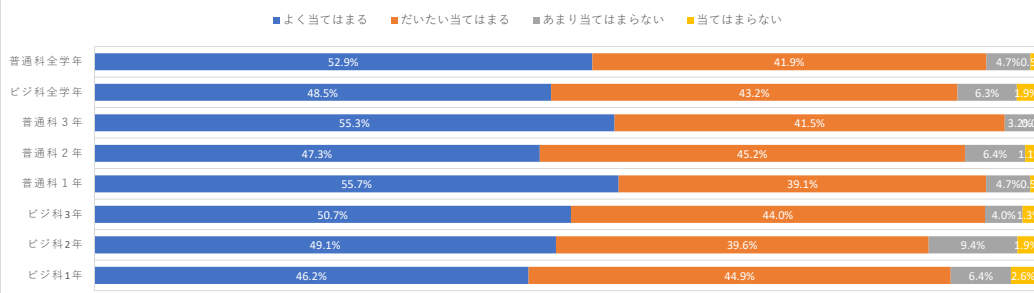
設問6 学校として、部活動は活発に行われている



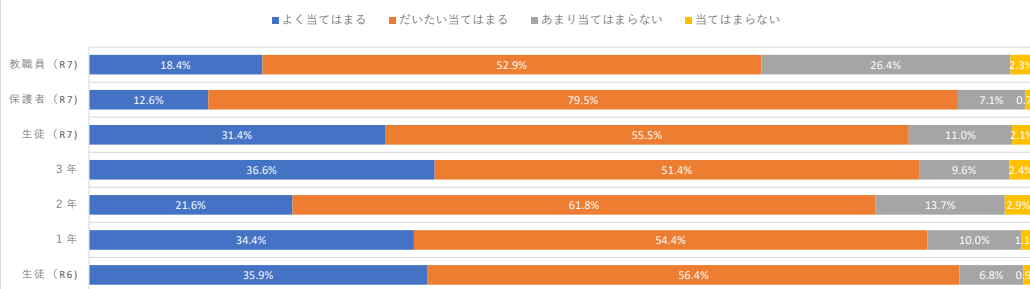
【分析と対策】

本校では、部活動は人間形成や人間関係構築、精神的な鍛錬等、授業だけでは得られないものを身につけることができる重要な活動と考えており力を入れている。今年度は、諸般の制限もなく今まで通りに大会が開催され、日頃の活動の成果を発揮できたことも9割を超える肯定的な生徒の評価に繋がったと考えてる。さらには、よくあてはまるが伸びるよう今後も学業との両立を図れるように工夫し、家庭との連絡・協力も密に取りながら、さらに活発な充実した活動ができるようサポート体制を構築していきたいと考えている。

設問6 学校として、部活動は活発に行われている



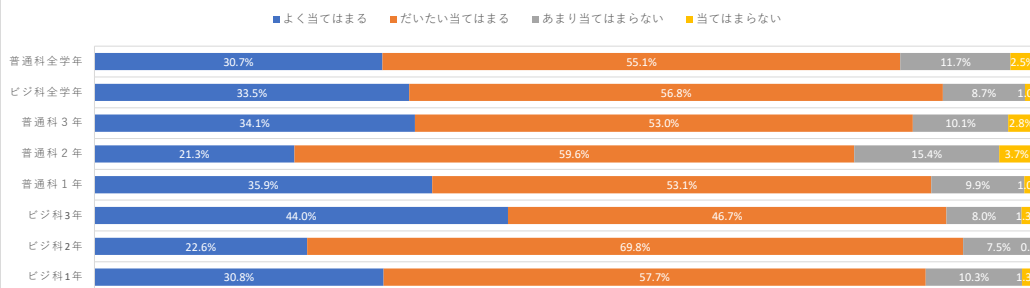
### 設問7 学校として、生徒会活動は活発に行われている



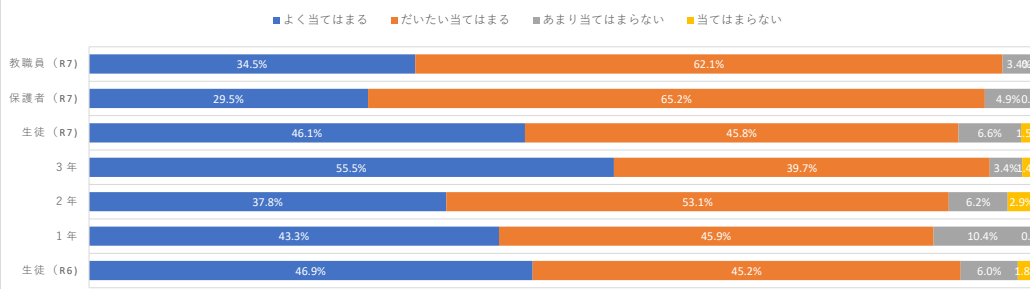
#### 【分析と対策】

一般生徒が生徒会活動に関心を持つケースが増えていることにより、肯定的な評価の上昇に繋がっていると考えられる。一つは生徒会役員選挙に立候補する生徒も増え、信任投票でなく、通常選挙を実施することができた。また、生徒総会での意見と要望が増え、生徒会も多岐に渡って活動できる下地ができた。今後も生徒自身の大切な会として、一般生徒が主体的に取る組める活動を目指して行きたい。

### 設問7 学校として、生徒会活動は活発に行われている



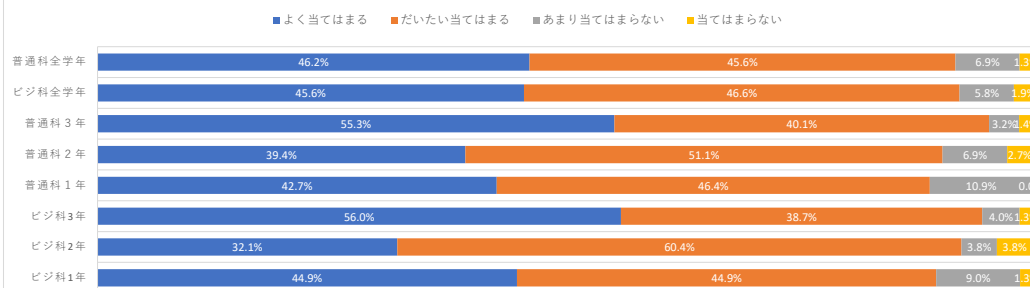
### 設問8 自分にとって、有意義な学校行事がある



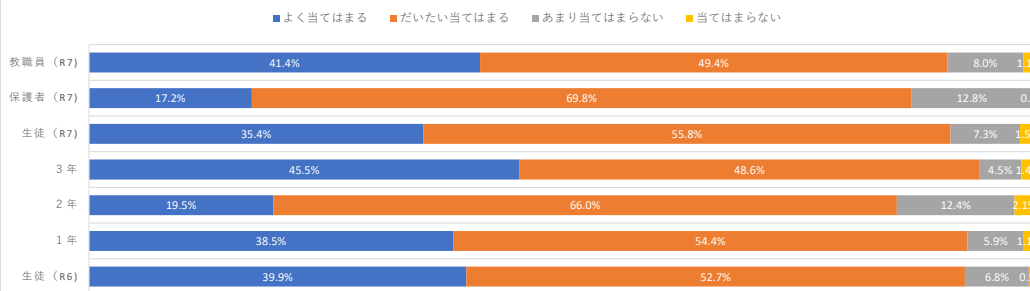
#### 【分析と対策】

今年度は、感染対策を視野にいれながらも、各種行事を通常開催できたことが、全体的に9割以上の肯定的な評価に繋がっていると考えている。文化祭や体育祭では多くの生徒の楽しく充実した姿を目にすることができた。実行委員会などで生徒の意見を柔軟に取り入れながら今後もさらに生徒が主体性を発揮できるような工夫をして、より良い行事を目指していきたい。

### 設問8 自分にとって、有意義な学校行事がある



設問9 学校として、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる

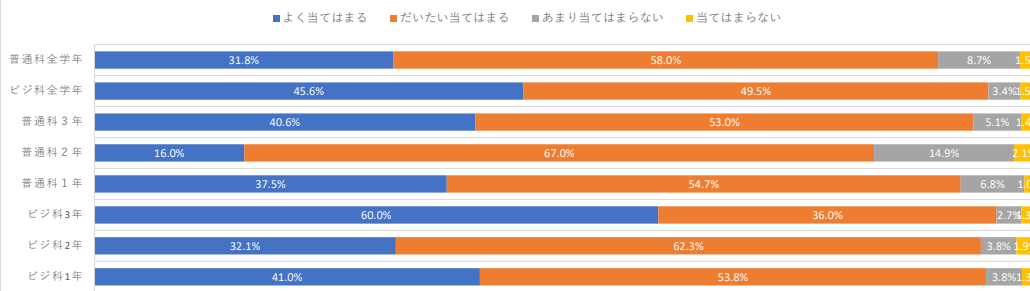


【分析と対策】

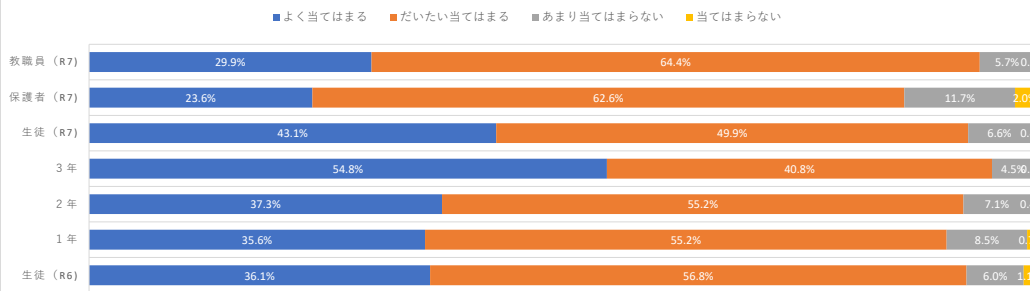
・企画探究部（総合的な探究の時間）  
特に第2学年生徒の肯定的評価の割合が低い。今年度、普通科第2学年の「総合的な探究の時間」の内容を新たにした。分野別ゼミでの活動や、韓国の高校とのオンライン交流、地域でのフィールドワークなどを通して、自らの興味関心に基づくテーマ設定を行った。一方で、適切なテーマが設定できず探究活動が滞るケースや、探究の成果を感じづらい様子の生徒もみられた。肯定的評価、否定的評価どちらも生徒が自身の活動を客観的に振り返ることができた結果と捉えている。  
これから次年度の計画を作成していくにあたり、探究活動の成果を適切に生徒が実感できるように、計画と運営がでりうよう検討を重ねていく。

・ビジネス科  
地域に根ざした特色づくりを展開して2年目となる。塩竈市や塩竈市の企業と連携した授業を展開し、地域に少くも浸透し、本校と何かしたいと考える企業が少しずつはあるが増えている。また、国際交流や学校交流の場を塩竈市観光ガイドをおしなごらの展開を実施しており、塩竈市のNPOの団体からガイドのアドバイスを受け、広隆寺のコミュニケーションとして活用できている。今後も幅を広げながら展開していきたい。

設問9 学校として、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる



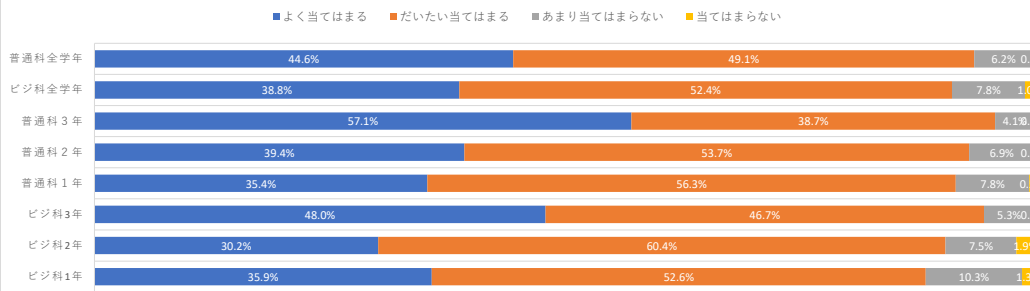
設問10 生徒に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている



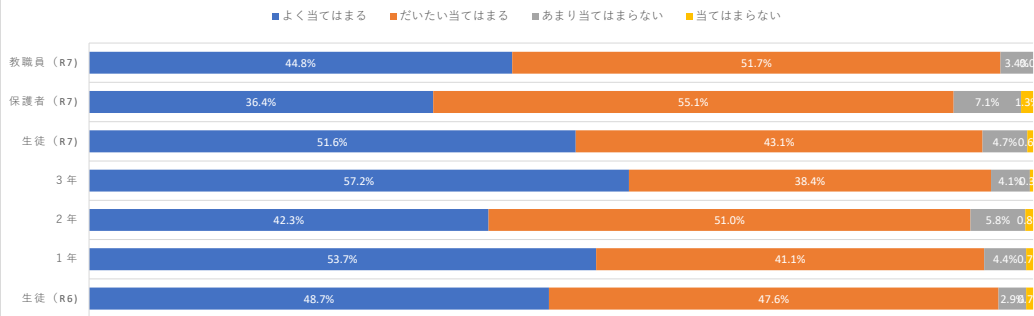
【分析と対策】

生徒による評価で肯定的回答が93%と例年並みだが、積極的評価が高くなった。今年度も6月と10月の防災避難訓練を実施することができた。特に10月の東キャンパスでの訓練では塩竈消防署の方々に来校のうえで指導・助言と講話をいただいた。また、1学年には塩竈市の出前授業を活用した防災教育を実施したことが高い評価につながっていると思われる。保護者の評価では、今年度も肯定的回答が86.2%と高い評価であった。今後は、訓練の様子や防災に関する情報を学校のホームページ等で発信していきたいと考えている。

設問10 生徒に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている



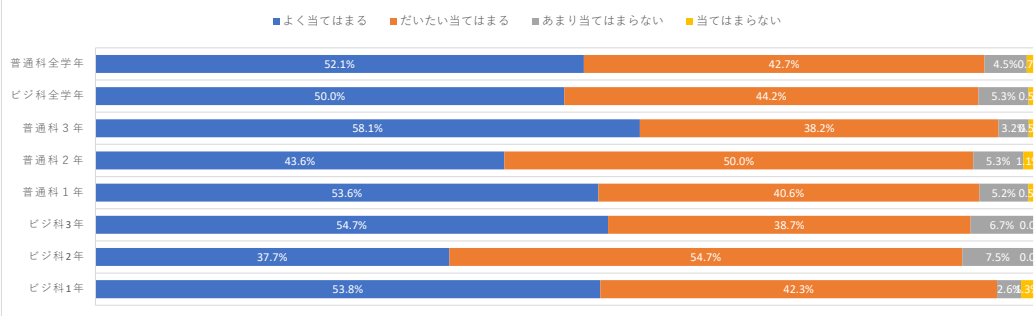
設問 1 1 保護者に対して、HPやメール配信などによって、学校の情報は適切に伝えられている



【分析と対策】

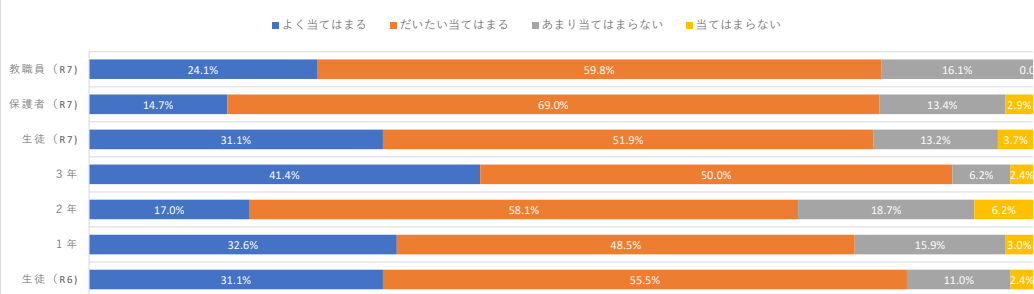
生徒の肯定的回答が94.7%、保護者の肯定的回答は91.5%である。昨年度よりいずれも低下したものの高い数値であり、学校からの情報等が適切に伝わっていると言える。各種だよりをはじめお知らせ等をeメッセージで配信することで、本校の取組を広く保護者に周知できているが窺える。また、本校のウェブサイトへの掲載記事をこまめに更新することで、生徒が学習活動に取り組む様子をタイミングよく発信することができている。

設問 1 1 保護者に対して、HPやメール配信などによって、学校の情報は適切に伝えられている



その一方で、保護者の7.1%が「あまり当てはまらない」と回答している点については、オープンキャンパス当日の朝に津波警報が発令されたため、保護者への連絡が遅くなったことに起因する点が大きいと推察される。複合的な事情はあるものの、こうした事態に対して、今後も組織的な対応に努め、保護者や生徒に不安を与えることのないよう丁寧に対応していきたい。

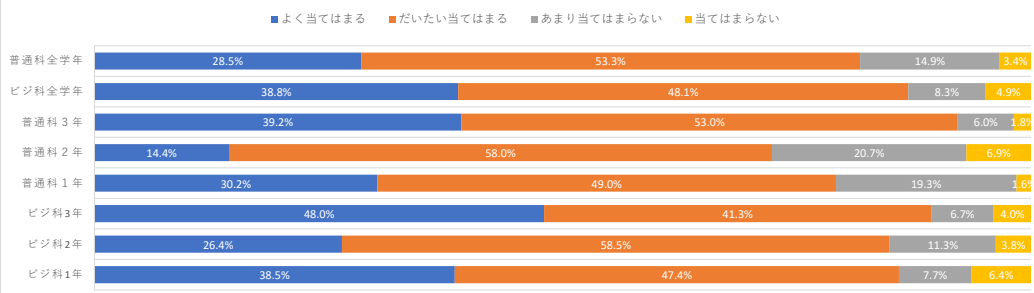
設問 1 2 校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている



【分析と対策】

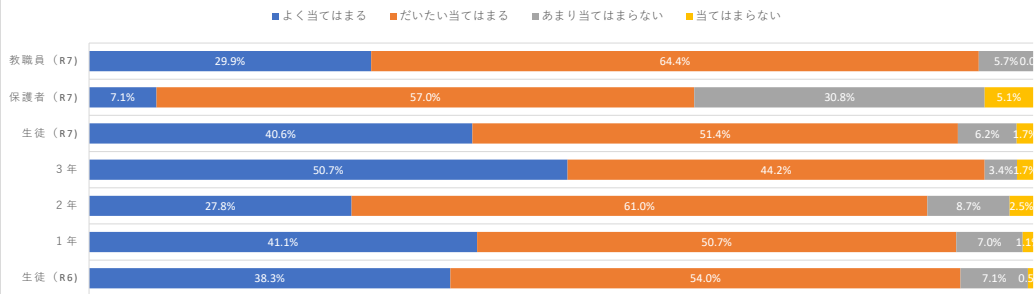
西キャンパスは築後29年、東キャンパスは築後37年を経過していることから、建物及び設備の不具合等も年々増加してきており、施設整備について、中長期的な営繕計画を県に提出しております。また、令和10年度のワンキャンパス化が決定したことから、それに向けての整備要望を行っています。

設問 1 2 校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている



突発的な不具合等は、今まで同様随時、予算措置を要望し対処しています。今後とも、生徒が安心して学校生活を送れるよう安全な施設環境の整備を図って参ります。

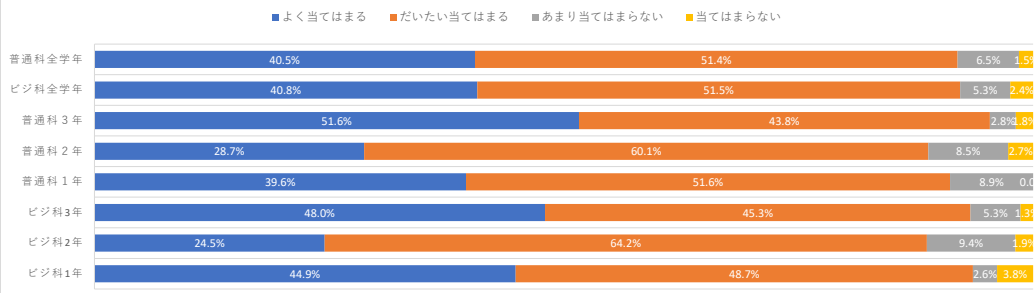
設問 1 3 学校として、アンケート調査等により日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる



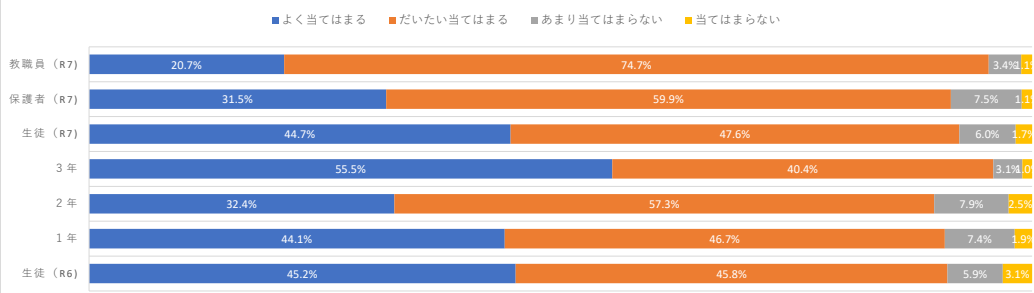
【分析と対策】

今年度も定期的にいじめに関するアンケート調査を実施し、さらに日頃のクラス内や部活動内で活動している生徒達を注意深く見守る体制を作ってきた。その中で、いじめという性質上教職員に分からないように進行していく状況も考えられるため、些細な変化や出来事を見逃さず校内の様々な場面やご家庭との連携を大切にして、いじめの早期発見・状況に応じた細やかな対応を心がけた。今後は、保護者の方々にもより理解を得られますように様々な場面で各ご家庭と連絡を密に取り合いながら生徒たちの様々な問題に取り組んでいきたい。

設問 1 3 学校として、アンケート調査等により日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる



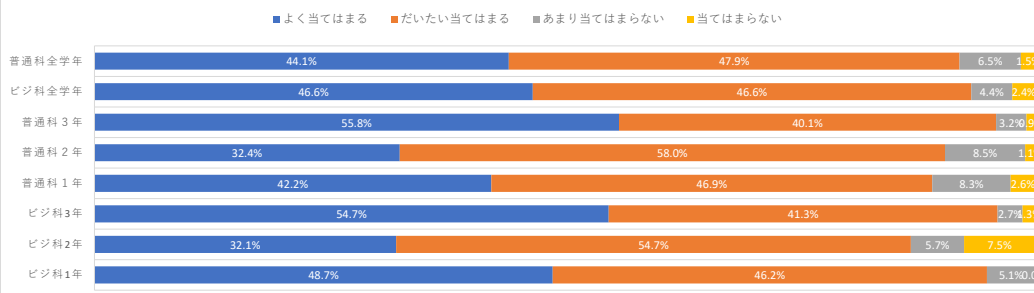
設問 1 4 自分にとって、学校生活は充実している



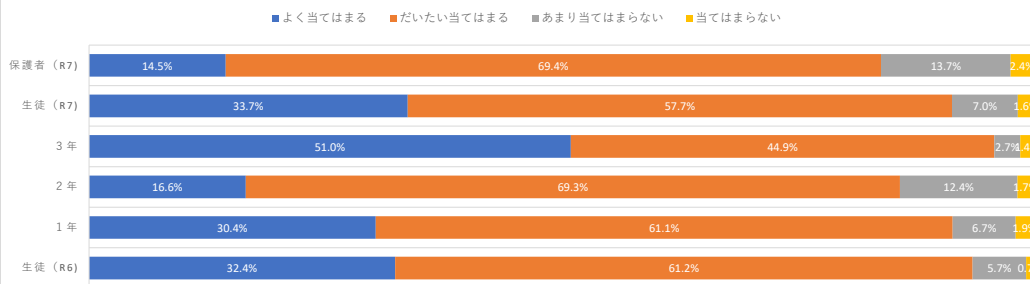
【分析と対策】

生徒の肯定的評価が92.3% (R6は91.0%)、保護者の肯定的評価は91.4% (R6は91.0%) と上昇している。特に、1学年ビジネス科94.9%、3学年ビジネス科96.0%、3学年普通科95.9%と高評価であった。学校行事・部活動・進路決定、ビジネス科では資格取得・台湾や韓国の高校生との国際交流等に取り組んだことが要因で充実した学校生活となっていることが考えられる。

設問 1 4 自分にとって、学校生活は充実している



【学校独自】設問 15 本校の進路状況は満足できるものである

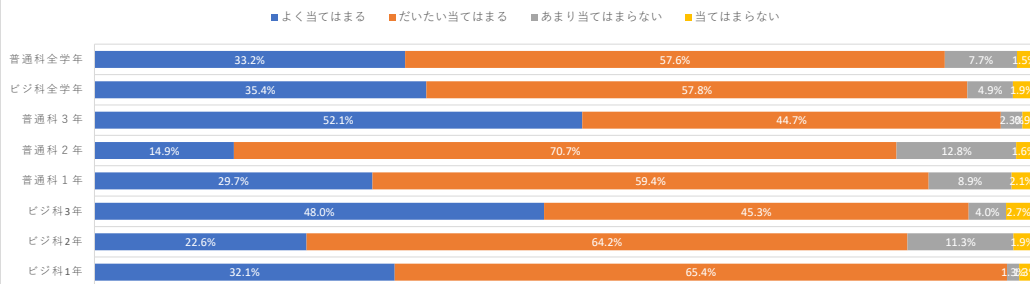


【分析と対策】

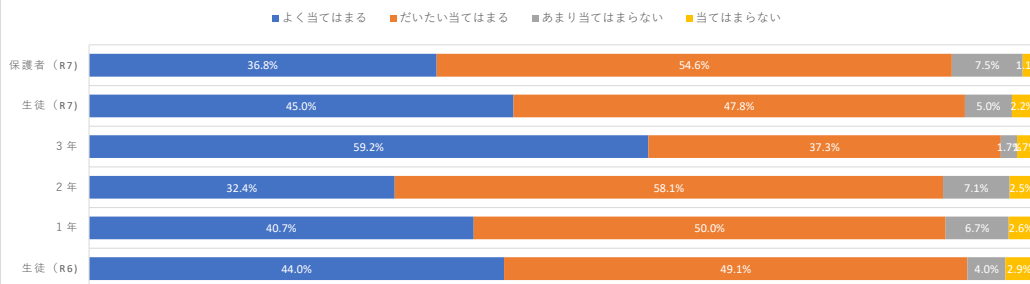
生徒の肯定的評価は高い水準を維持しており、本校の進路状況について概ね満足が得られていると考えられる。普通科・ビジネス科の特色を生かし、進学から就職まで多様な進路選択が可能であることが評価につながっている。また、進路ガイダンスや面接指導に加え、ICTを活用した情報収集や出願準備が進路実現に有効に機能しつつあると思われる。一方で、学年や進路意識による評価の差もみられ、より具体的にタイムリーな情報提供が求められている。

対策としては、進学・就職に関する進路実績や指導内容を分かりやすく生徒・保護者に発信していく。あわせて、ICTを活用した進路情報の提供や個別相談を充実させ、生徒が主体的に進路選択を行えるよう支援したい。また、学年段階に応じた計画的な進路指導を継続し、多様な進路実現に向けた指導体制の充実を図ることで、進路状況に対する満足・納得度の向上を目指す。

【学校独自】設問 15 本校の進路状況は満足できるものである



【学校独自】設問 16 塩釜高校に入学して良かったと思っている



【分析と対策】

生徒の肯定的評価が92.8%（R6は93.0%）、保護者の肯定的評価は91.4%（R6は92.9%）と昨年度より若干下降しているが、生徒・保護者ともに高評価であった。特に、1学年ビジネス科96.1%、3学年ビジネス科94.7%、3学年普通科97.2%と設問14と同様に高評価であった。生徒・保護者ともに入学して良かったと思えるような魅力的な学校となるように、教員の授業力向上・必要に応じた個別指導・魅力的な学校行事・部活動での活躍・塩釜市との連携・希望する進路の実現が達成することができる学校づくりに努めたい。

【学校独自】設問 16 塩釜高校に入学して良かったと思っている

